

令和7年度 事業計画

鹿児島県下における健康保険、厚生年金保険等各種社会保険制度の被保険者（被保険であった者を含む。）及び被扶養者（以下、「被保険者等」という。）の福利を増進し、社会保険制度の普及発展及び事業の円滑な運営に寄与することを目的に、関係機関と連携・協力を密にして次の事業を重点的に実施する。

1 広報に関する事業

事業主及び被保険者等に対して、健康保険制度及び公的年金制度の普及を図り、事業所の円滑な運営に寄与するため次の事業を実施する。

- (1) 当協会からのお知らせや社会保険制度の改正内容及び事務手続き等の情報を掲載した広報誌「社会保険かごしま」を年6回（奇数月）発行する。
同時に県内日本年金機構各年金事務所（以下「年金事務所」という。）及び全国健康保険協会鹿児島支部（以下「協会けんぽ」という。）の来訪者にも広く配布して社会保険制度の情報を提供するほか、当協会のホームページにも掲載してその周知を図る。
- (2) 広報誌「協会だより」を4月に発行し、令和7年度の事業内容の周知徹底を図る。
- (3) 社会保険制度の仕組みを正しく理解し円滑に事務手続きを進めることができるよう、解説書・パンフレット及びリーフレット等を随時配付する。
- (4) 関係機関との意見交換に努め、また必要に応じマスコミなどを活用し事業内容の周知・徹底を図る。

2 研修・相談事業

社会保険事務担当者の事務手続きが円滑に行えるよう、また事業主や被保険者等から相談に対応出来るよう、制度に対する正しい理解と知識を深めていただくため次の事業を実施する。

- (1) 実務に役立つ健康保険、年金保険及び労働保険等に関する各種事務研修会を開催する。
- (2) 社会保険制度に関する基礎（健康保険・公的年金保険・労働保険）について、テーマごとに学ぶ「社会保険事務基礎講座」を開講する。
- (2) 年金事務所及び協会けんぽなどと連携した「社会保険合同実務研修会」を開催し、社会保険制度に関する法律改正事項や各種届書及び申請などについて周知を図る。

3 福利厚生事業

事業主や被保険者等に対し、健康づくりの重要性についての普及・啓発を図り、健康の保持増進のため次の事業を実施する。

- (1) 健康の保持増進を図ることを目的に、関係機関と連携し各種スポーツ大会（ソフトボール・バレーボール・ボウリングなど）を開催する。
- (2) 脳ドック検診を推進し、被保険者の疾病の早期発見・早期治療を支援するため検診費用の一部を助成する。
- (3) 「契約宿泊施設」及び「いおワールドかごしま水族館」の利用料金の一部を助成する。
- (4) その他の福利厚生事業については、会員事業所からの要望及び本県の状況を踏まえその充実を図る。

4 育成事業

本県の社会保険事業の円滑な推進に寄与している、各社会保険委員会（年金委員、健康保険委員で構成）及び鹿児島県社会保険委員会連合会の事業活動に対して協力・支援を行う。

5 理事会等の開催

- (1) 通常理事会 令和7年5月・令和8年3月
- (2) 定時評議員会 令和7年6月